



- 室内ユニット上部を据付板に引っかける。  

- 室内ユニット下部を軽く押し込み、据付板に固定する。  
固定後、室内ユニット下部を手前に引っ張り、確実に固定されていることを確認してください。  


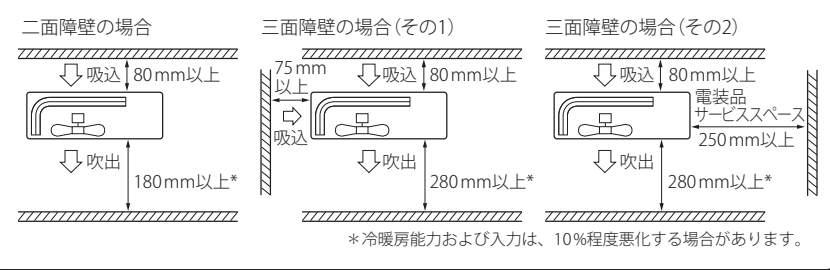


## 9. 室外ユニットの設置と配線接続

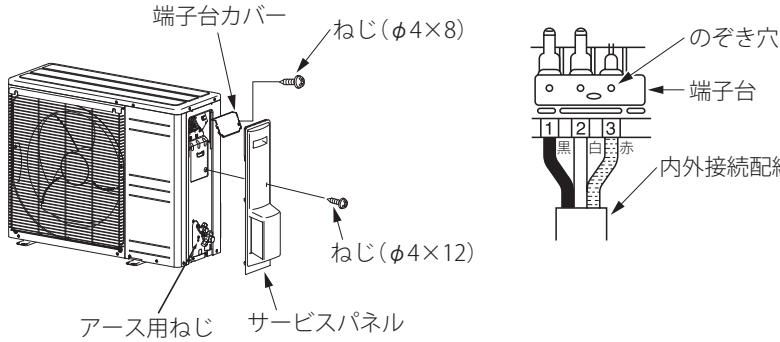
室外ユニットは水平に据え付けてください。

- ユニット脚部はガタつかないよう頑丈な台等に固定してください。
- 高所や強風が当たる所や転倒や落下のおそれがある場所に設置する場合は、基礎ボルトや針金等で室外ユニットを固定してください。
- 屋上や高所に据え付ける場合は、通路に恒久ハシゴや手すり等を、室外ユニット周辺にフェンスや手すり等を設けてください。
- 吸込口および吹出口に壁等の障害物がある場所に据え付ける場合は、右記に従ってください。

### ■二面障壁・三面障壁の場合の据付スペース例



1. 内外接続配線の被覆を 18mm むく。
2. ねじを外し、サービスパネルを取り外す。
3. ねじを外し、端子台カバーを取り外す。
4. 内外接続配線を端子台に接続する。
  - ・内外接続配線は、端子台の奥までしっかり挿入してください。
  - ・のぞき穴から心線が見えることを確認してください。
  - ・内外接続配線は室内ユニットの端子番号に合わせて接続してください。
5. 端子台カバー、サービスパネルを取り付ける。



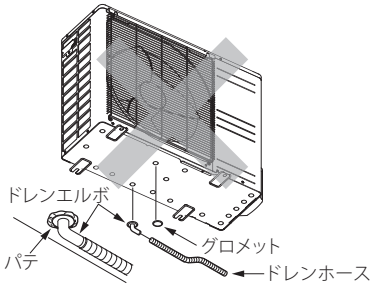
## 10. 室外ユニットのドレン工事

### ■お願い

寒冷地ではドレン水が凍結するため、ドレンエルボ・グロメットは取り付けないでください。室外ユニットのドレン水は、たれ流しにしてください。  
\*寒冷地：日中でも0℃以下の日が2～3日連続する地域

排水口と地面との距離を空けるため、以下の架台または金具をお使いください。

平置台：SA07831 高置台：SA08226  
二段置台：SA07837 天井吊金具：SA07824, SA07825, SA08216  
屋根置台：SA07806 屋根直角置台：SA07812



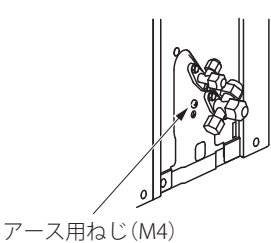
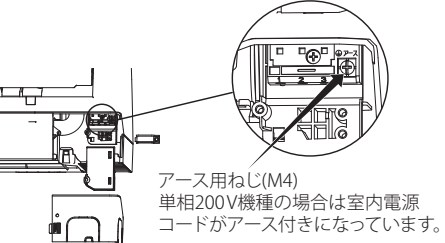
## 11. アース工事

アース工事や漏電しゃ断器の取り付けは、「電気設備に関する技術基準」、「内線規程」に従ってください。

接地の基準は、エアコンの電源電圧および設置場所により異なります。

電源の条件	設置場所 エアコンの種類	水気のある場所	湿気のある場所	乾燥した場所
対地電圧が 150V 以下の 場合	100V の機種 (単相 3 線式 200V の機種)		D 種接地工事 (第 3 種接地工 事) が必要です。	D 種接地工事 (第 3 種接地工事) は法的には除外されますが安全 のため接地工事をしてください。
		漏電しゃ断器を取り付けさらに第 3 種接地工事が必要です。		

1. 室内アースを取り付ける。
  - (1) リッド、端子台カバーを取り外す。
  - (2) アース線をアース端子に接続する。
2. 室外アースを取り付ける。
  - (1) サービスパネルを取り外す。
  - (2) アース線をアース端子に接続する。



### ⚠ 警告

- アース (接地) を確実に行う。アース線は、ガス管・水道管・避雷針・電話や他のアース線に接続しない。  
(感電・火災の原因)

### ■D 種接地工事 (第 3 種接地工事) について

- ・接地工事は、電気工事士の方が行ってください。
- ・接地抵抗は、100 Ω 以下であることを確認してください。ただし、漏電しゃ断器を取り付けた場合は、500 Ω 以下であることを確認してください。
- ・乾燥した場所に設置する場合、接地抵抗は 100 Ω 以下になるようにしてください。

### ■漏電しゃ断器について

- ・万一漏電したときの感電防止のため、漏電しゃ断器を設置してください。
- ・漏電しゃ断器が働く場合は、衝撃波不動作形のものに交換してください。

## 14. 試運転と確認

### 必ず試運転を行ってください。

試運転前や試運転中、工事完了後にチェック項目を確認して、確認済みの項目について□の中にレ印を記入してください。

#### ① 試運転の前に

- 電源プラグを電源コンセントに差し込む前に、電源電圧を測定する。
- 室内ユニットに空気清浄フィルターを取り付ける。(詳細は取扱説明書参照)
- リモコンに乾電池を入れ、設定を行う。(詳細は取扱説明書参照)

試運転前に次のことを確認してください。

電源	
1 電源は専用回路を設けているか。	<input type="checkbox"/>
2 電源電圧は製品仕様と合っているか。	<input type="checkbox"/>
3 電源コンセントとプラグに“ガタ”はないか。	<input type="checkbox"/>
4 電源コードの切断やより線接続等の加工はしていないか。	<input type="checkbox"/>
5 延長コードやタコ足配線していないか。	<input type="checkbox"/>
6 電源コードを極度に折り曲げたり、束ねたり、ステップで固定していないか。	<input type="checkbox"/>
7 電源コードを室内ユニット本体等で圧迫していないか。	<input type="checkbox"/>
内外接続配線	
8 内外接続配線は所定のケーブルを使用しているか。	<input type="checkbox"/>
9 内外接続配線は途中接続をしていないか。	<input type="checkbox"/>
10 内外接続配線の皮むき長さは規定の寸法通りか。	<input type="checkbox"/>
11 内外接続配線の端子台への挿入・固定は確実か。	<input type="checkbox"/>

#### ② フィルター清掃動作の確認を行う

リモコンのフィルター清掃ボタンを押して、フィルター清掃が正常に終了することを確認してください。(詳細は取扱説明書参照)

#### ③ 試運転を行う

### ⚠ 注意

- 新築やリフォーム等の内装工事で床面にワックスをかけたときは試運転をしない。ワックスをかけた後は、窓やドアを開けて十分に換気をした後、試運転を行う。  
(ワックス等の揮発成分がエアコン内部に付着し、水漏れ・水飛びの原因)

1. リモコンの切換ボタンで「冷房」または「暖房」に設定する。
2. リモコンの運転/停止ボタンを押し、運転を開始する。
3. 温度設定ボタンで次のように温度を設定する。

冷房の場合	18℃	暖房の場合	30℃
-------	-----	-------	-----

#### ④ 試運転の後に

お客様にご使用方法・お手入れの仕方等を説明してください。

確認項目	
1 お客様に取扱説明書に従って使用方法とお手入れの仕方について説明したか。	<input type="checkbox"/>
2 お客様に保証書・取扱説明書・据付説明書を渡して、保管いただくように説明したか。	<input type="checkbox"/>
3 お客様に工事内容について説明したか。	<input type="checkbox"/>
4 お客様に連絡先を伝えたか。	<input type="checkbox"/>

アースと漏電しゃ断器	
12 アースの接続は確実か。	<input type="checkbox"/>
13 漏電しゃ断器は設置してあるか。	<input type="checkbox"/>
冷媒回路	
14 操作弁は全開にしたか。	<input type="checkbox"/>
15 内外接続配管部からの冷媒漏れはないか。	<input type="checkbox"/>
ユニット・後処理	
16 室内ユニットは据付板にガタなくはめ込まれているか。	<input type="checkbox"/>
17 据付場所の強度は十分で、騒音や振動が増大しない場所か。	<input type="checkbox"/>
18 内外接続配管部の断熱をしたか。	<input type="checkbox"/>
19 壁穴部のシールは確実にしたか。	<input type="checkbox"/>
20 ドレンホースの固定は確実か。	<input type="checkbox"/>
21 空気清浄フィルターは取り付けたか。	<input type="checkbox"/>
22 梱包材やテープ類はすべて撤去したか。	<input type="checkbox"/>

### ■エアフィルター位置の自動調整について

電源投入時および吸込パネルを開いたときは、1～3分間エアフィルターの位置を自動調整します。(フィルター清掃ランプ(緑)が点灯します。)この間はエアコン運転ができません。フィルター清掃ランプが消灯してから、運転を開始してください。

#### 4. 約 20 分運転し、次のことを確認する。

確認項目	
1 吹出口から冷風または温風がでているか。	<input type="checkbox"/>
2 フラップ・ルーバーは正常に動作しているか。	<input type="checkbox"/>
3 ドレン水の排水は確実か。	<input type="checkbox"/>
4 室内・室外ユニットから異常音はないか。	<input type="checkbox"/>
5 本体表示ランプの点灯は正常か。	<input type="checkbox"/>
6 リモコンの信号は受信したか。	<input type="checkbox"/>
7 リモコンの表示は正常か。	<input type="checkbox"/>

### ■3 分間再起動防止タイマーについて

エアコンを再起動するときや運転を切り換えたときは約 3 分間運転を始めません。これは本体の保護のためで故障ではありません。

機 種 名	
製 造 番 号	
据 付 年 月 日	
据 付 担 当 者	
問い合わせ先 電 話 番 号	

## 12. 配管の接続

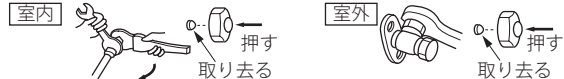
### ！重要

#### 配管セットを使用する場合

- R32 または R410A 用配管セットを使用してください。  
従来の冷媒用配管セット (肉厚が 0.8mm 未満の薄肉配管) は耐圧強度が足りないため、絶対に使用しないでください。
- 冷媒種：2 種、対応冷媒名：R32 または R410A、銅管口径×肉厚：6.35×0.8／9.52×0.8
- この配管セットで、フレアナットが付き、フレア加工されているものは、そのまま使用できます。

#### ① 配管の準備 (フレア加工)

1. エアコン本体からフレアナットを外す。



2. パイプカッターで配管を切断する。

切断面は直角にする。

3. バリ取りする。

切り粉が配管内に入らないように配管を下向きにして行う。  
ゴミ、砂等の異物が入らないように切断面をテープでふさぐ。

4. フレアナットを接続部に挿入し、フレア加工する。

銅管径	A 寸法 (mm)
液 側 φ 6.35	9.1
ガス側 φ 9.52	13.2

5. 加工後、フレア内部に傷がないこと、真円に加工されていることを確認する。

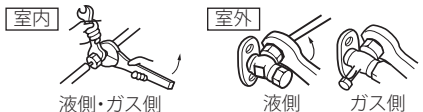
#### ② 配管の接続

1. フレアナットを手で仮締めする。
2. トルクレンチを使って、既定の締め付トルクで締め付ける。

(フレアナットを締め付け過ぎると、長期経過後、フレアナットが割れ冷媒漏れの原因になります。)

3. 冷媒配管の防露断熱工事を行う。

(防露断熱工事を確実に行わないと、水漏れ・露たれし家財等を濡らす原因になります。)



## 13. エアパージと冷媒漏れ確認

地球環境保護のため、真空ポンプ方式でエアパージしてください。

- R32 用もしくは R410A 用のツール (ゲージマニホールド、チャージホース、真空ポンプ、真空ポンプアダプター等) を使用してください。
- 逆流防止用真空ポンプアダプターを使用してください。(真空ポンプのオイルがエアコンに逆流すると、冷凍サイクルの故障の原因になります。)

### ⚠ 警告

- エアコンの据え付けや移設の場合、冷凍サイクル (配管) 内に指定冷媒 (R32) 以外の空気等を入させない。  
(冷凍サイクル内が異常高圧となり、破裂・ケガ等の原因)

1. 操作弁 (液側・ガス側) の操作弁キャップとサービスポートのキャップを外す。
2. 室内側・室外側すべてのフレアナットを漏れないように締め付ける。
3. 操作弁・チャージホース・ゲージマニホールド・真空ポンプ、真空ポンプアダプターを接続する。(右図参照)
4. ゲージマニホールドのハンドル Lo を全開にし、真空引きする。
5. 真空引きを 10 分以上行い、連成計が -0.1MPa (-76cmHg) になっていることを確認する。
6. ハンドル Lo を全開にし、真空ポンプの運転を停止する。  
1～2分間そのままの状態にして、連成計の針が戻らないことを確認する。
7. 操作弁 (液側) の弁棒を六角レンチで 90° 開き、5～6 秒後に閉じ、冷媒漏れ検査を行う。
8. 操作弁 (液側・ガス側) を六角レンチを使って、全開にする。  
弁棒は当たりがあるところで止め、それ以上は回さないでください。

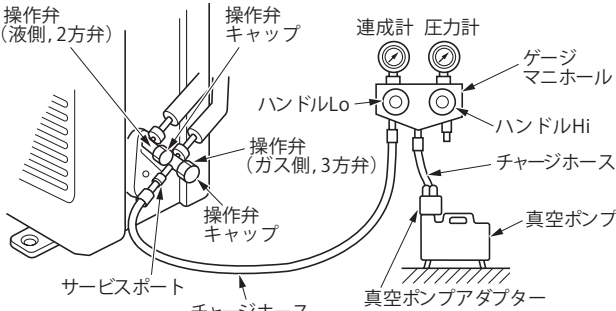
9. サービスポートからチャージホースを外す。

10. サービスポートおよび操作弁 (液側・ガス側) のキャップを取り付ける。

トルクレンチを使って、所定のトルクで締め付けてください。

操作弁キャップ (液側・ガス側)	締め付トルク N・m (kgf・m)
サービスポートキャップ	11 ± 1 (1.1 ± 0.1)

11. キャップ部周辺および室内・室外の接続部の冷媒漏れがないことを確認する。



## 必要に応じて

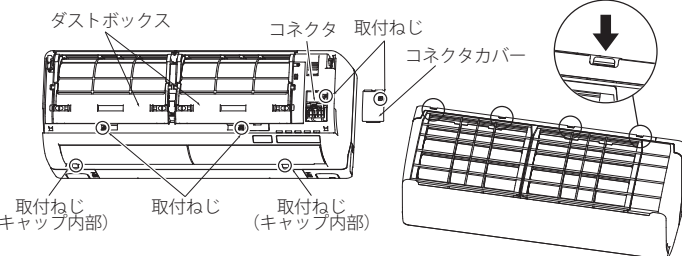
### ◎ 同じ部屋にエアコンを 2 台設置する場合

お部屋にエアコンを 2 台設置した場合、1 つのリモコンで 2 台のエアコンを同時に動作させたくないときに設定します。どちらか一方のリモコンと室内ユニットのセットに設定を行ってください。(詳細は取扱説明書参照)

### ◎ インターフェイスキットを接続する場合／HA 機器を接続する場合

1. 前面パネルを取り外す。

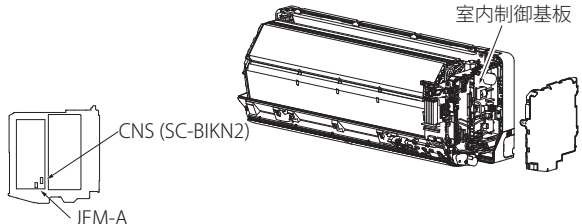
- (1) 吸込パネルを取り外す。
- (2) 取付ねじを外す (6 か所)。  
(1 か所はコネクタカバーの内側にあります。)
- (3) 配線のコネクタを外す (2 か所)。
- (4) 前面パネル下部を手前に浮かし押し上げるようにして外す。  
外れない場合は、下図のようにツメ (4 か所) 押し外してください。



2. 室内基板に接続する。

【インターフェイスキット接続の場合】  
CNS (SC-BIKN2) (5P 端子) に接続する。  
(詳細は「インターフェイスキット SC-BIKN2」説明書参照)

【HA 機器接続の場合】  
JEM-A (4P 端子) に接続する。  
(詳細は「エアコンアダプター」説明書参照)



3. 前面パネルを取り付ける。

### ◎ 室外ユニットの防雪対策

寒冷地では、室外熱交換器に雪が付着したり、室外吹出口が確保できない場合、性能低下や霜取運転頻発のおそれがありますので、防雪フードの取り付けを推奨します。(防雪フードを取り付ける際は、防雪フードと壁の間を十分にとってください。)

- 吸込み側フード (背面)：HA07758 ● 吸込み側フード (側面)：HA07759 ● 吹出し側フード (前面)：HA07760

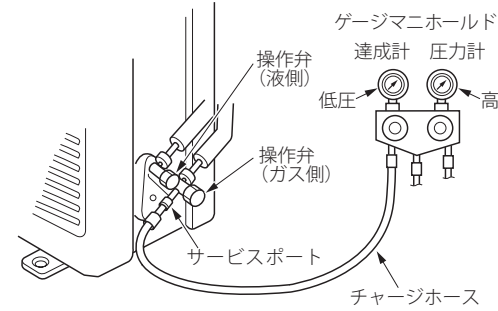
## 移設時または取り外し時の作業方法 (ポンプダウン)

### ◎ ポンプダウン

地球環境保護のため、冷媒の回収 (ポンプダウン) を行ってください。

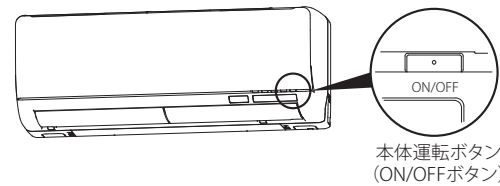
- 冷媒漏れのないことを確認してから行ってください。

1. 操作弁 (ガス側) のサービスポートに、ゲージマニホールドのチャージホースを接続する。
2. 操作弁 (液側) を六角レンチで全開にする。
3. 操作弁 (ガス側) を六角レンチで全開にする。
4. 冷房運転を行う。  
室温が低い場合は、強制冷房運転を行ってください。
5. 圧力計が 0MPa (0kgf/cm<sup>2</sup>) になったら、操作弁 (ガス側) を全開にし、冷房運転を停止する。



#### 強制冷房運転

1. 電源プラグを抜いて、しばらくしてから再度コンセントに差し込む。
2. エアコン本体の本体運転ボタンを 5 秒以上長押しする。  
“ピッ”と音がし、強制冷房運転が開始します。



### ◎ 室内ユニットを据付板から取り外す場合

室内ユニットベース下部ツメ位置マーク部を指で上方向に押しながら、ユニット下部両端を引き上げてください。  
室内ユニットベース下部ツメが据付板から外れます。

